

**DH SYSTEM**

大日本塗料株式会社

商品番号 6520

# レジガードボンド

1. 一般名 エポキシ樹脂含浸接着剤（ガラスクロスライニング用）  
2. 規格 社内規格  
3. 特徴  
1) 作業性にすぐれ、ガラスクロスへの含浸性が良好である。  
2) プライマー、パテ、中塗塗料との相互接着性にすぐれている。  
3) 耐薬品性にすぐれ、物理強度が大きい。

## 4. 塗料性状

項目	内容			
容姿	2液性			
荷姿	9kgセット（主剤：6.0kg、硬化剤：3.0kg）			
色相	淡黄色			
光沢	つや有り			
密度 (23°C)	硬化物	1.2		
	揮発分	—		
加熱残分	100%（理論値）			
乾燥時間	温度	5°C	20°C	30°C
	指触	—	—	—
	半硬化	18時間	10時間	8時間
	標準膜厚	—		
引火点	SDS参照			
発火点	SDS参照			
爆発限界（下限～上限）	SDS参照			

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

## 5. 塗装基準

項目	内容			
下地処理	—			
調合法	主剤：100部、硬化剤：50部（重量比）			
可使時間	5°C	20°C	30°C	
	90分	40分	20分	
洗浄シンナー	レジガードシンナーA			
施工法	施工方法	ヘラ、コテ		
	希釈率	—		
	標準使用量	0.20～0.30kg/m <sup>2</sup>		
	標準膜厚	—		
	ウエット管理膜厚	—		
施工間隔	温度	5°C	20°C	30°C
	最小*	18時間	10時間	6時間
	最大	7日	7日	7日

注）標準使用量は、公団規格に基づくものであり下地の状態によって変動します。

※）同種の塗り重ねは、施工直後からでも可能です。

## 6. 施工上の注意

- コンクリート面のレイトランス、塩分、油脂、湿気、塵埃、水分その他の有害な付着物は完全に除去する。
- 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分に攪拌して均一な状態にする。混合比を間違えると十分に性能を発揮しないばかりか、硬化しないことがある。
- 主剤と硬化剤を混合した後は、可使時間以内に使い尽くすこと。硬化反応が進んだ材料はシンナーを加えても使用できない。
- 施工間隔が長くなると密着不良を生ずることがあるので必ず規定時間以内で塗り重ねを終了する。尚、規定時間以上経過した場合は、材料表面をサンドペーパー或いはパワーブラシ等にて研磨し、さらにウエスで拭いて調整してから施工する。
- 施工終了後の使用器具は直ちにレジガードシンナーAで十分に洗浄する。一度硬化すると再びシンナーでは溶解しなくなる。

## 7. 関連法則

	主 剤	硬 化 剤
危険物表示	指定可燃物	指定可燃物
有機溶剤区分	—	—
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	—	—

## 8. 使用上の注意【警告】

- 安全情報に関する内容は、SDSをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。